

実施概要

当校は、普通科と職能開発科の2つの学科を設置する高等部単独の知的障害特別支援学校です。

社会貢献活動は、これまで高齢者介護施設との交流がありました。ここでは清掃活動や音楽の発表などを行ってきました。今回の社会貢献活動は、部活動(芸能部)と普通科のカフェサービス班の生徒による「カフェ室」を利用した作業学習に位置付け、日頃の授業の実践活動にもなるようにしました。

この地域には3つの自治会があり、日頃から学校のイベントに招待はしていますが活動に参加いただくのは初めてのことです。

今回は地域との交流を強く意識して地元の桑袋団地自治会に働きかけを行い、実施に至りました。



カフェサービス班のコーヒー提供に心が和む

活動報告

実施日:11月18日(金)

初めに2階音楽室において芸能部太鼓チームが自治会の参加者を出迎え、まず、太鼓演奏を披露し、その後、参加者にも演奏に参加いただきました。

次に、太鼓チームが1階のカフェ室にエスコートし、カフェサービス班が出迎え、カフェのサービスと職能開発科食品加工コースの生徒が作ったプリンを差し上げました。その後、歓談をする中で自治会の参加者一人一人にハンドマッサージの施術を行い、大変好評を得ました。

最後に、自治会長から御礼の挨拶をいただき、活動を終了しました。

活動参加者 当校 生徒…16人 担当教員…4人
内訳 交流先 参加者…10人

交通手段 当校と桑袋団地の距離はおおよそ300m
徒歩で約4分

当日のスケジュール

- 9:30 学校・自治会・さわやか青少年センター・都教委 4者打合せ
- 10:00 【2階音楽室】学校・自治会挨拶
太鼓演奏発表(芸能部太鼓チーム)
共同演奏(自治会の方にも参加してもらう)
【1階カフェ室】移動、トイレ休憩
- 10:20 カフェの提供(カフェサービス班)
- 10:30 プリンの提供(食品加工コース)
ハンドマッサージ施術(カフェサービス班)
自治会の方々との交流
(カフェサービス班、芸能太鼓チーム:途中退席)
- 10:55 御礼の挨拶・見送り

活動のために準備したもの

- 当日のしおり(表紙イラストは生徒作成)
- 当日の掲示用プログラム(生徒作成)
- 太鼓発表時の法被 ● コーヒー・プリン

工夫したところ

- 太鼓発表では、生徒のこれまでの練習成果の発表となることと、高齢の方にも親しみがあり、なおかつ参加して一緒にできる演目の選定を工夫した。また、時間の関係上、曲も短縮するなど構成を工夫した。
- 地域の方との交流が今後も続くよう、カフェサービスの案内を渡し、継続的に利用していただくよう工夫した。

実施にあたって注意したところ

- 活動場所があまり広くない中に大人数が入るため、部屋の環境を整えた。

良かったと思うところ

- 地域の方に今後利用していただける学習活動(カフェサービス)をご案内できたこと。地域との交流の継続、拡大を目指したい。
- 生徒の頑張っている様子を見てもらい、激励の言葉や感謝の言葉をいただけたこと。生徒にとって大きな自信になった。

今後に向けての学校からの抱負

初めての交流で戸惑いもあったが、学校の良さを地域に紹介できたこと、地域の方と交流を深められたことが良かった。次年度以降も機会があれば継続していきたい。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 一生懸命頑張りました。ありがとうと言ってくれて嬉しかったです。
- 普段と違い大変なこともありましたが、喜んでくれたことがとても嬉しかったです。またやりたいです。
- どうしたら喜んでくれるだろうということを考えながらやりました。難しいこともありましたが、みなさんが喜んでくれて、頑張ってよかったです。

教員

太鼓演奏やカフェサービス、ハンドマッサージなど、生徒のこれまでの学習成果を存分に発揮して、「おもてなし」をすることができました。自治会の方からの「ありがとう」という言葉は、何より生徒たちの自信につながりました。生徒の学習活動が十分地域に貢献できるのだと認識することができたので、これを機会に地域とのつながりをさらに深めて、地域とともに歩む学校でありたいです。

団体の参加者・担当者の感想

参加者

- 太鼓から始まりましたが、とっても素晴らしい迫力で驚きました。感動して涙が出てくるくらいで、私の友人もそう言っていました。太鼓の後のコーヒーサロンもすばらしい味で、今度は出店の方にも伺い購入もしたいと思います。
- 今回、招待を受けて本当に感激しました。子どもたちが色々なことに挑戦しているのが分かって、私たちも黙っていないでできるだけのことをしていかなければいけないということを思いました。

自治会長

桑袋団地自治会より私他10名をお招きいただき、男子生徒による和太鼓演奏のすばらしい鼓動に聞き入り、また笑い声の渦の中で一緒に演奏させていただきました。その後、生徒達の案内でカフェ室に移動し、自家焙煎のコーヒーと校内の庭で採れたオーレングレインを使用した、口に入れたら味と香りが口一杯に広がるおいしいゼリーで接待され、加えて生徒たちによるハンドマッサージの提供があり、笑い感動の気持ちの良い交流の一日でした。是非、今後も交流を続けていければと思っています。

■ 実施までの経過 ※ (コ):コーディネーター

- 8月29日 当校と(コ)、学校で第1回打合せ。副校長より今回の社会貢献活動は地元の自治会を対象としたいとの意向を伺い、(コ)同意する。副校長が桑袋団地自治会に働きかけることになった。
- 9月15日 副校長より桑袋団地自治会長の了解を得たこととの連絡を受け、副校長、担当主幹教諭と(コ)で桑袋団地自治会館を訪ねた。自治会長他役員の方々に改めて説明し賛同を得て準備に取り掛かる。
- 11月1日 学校において、副校長、担当主幹教諭、自治会長、(コ)の4者でプログラム、会場、導線の確認等最終調整を行い、当日に至る。

交流先



桑袋団地自治会

住所:東京都足立区花畑八丁目3番 桑袋団地自治会第一集会所

■ 団体概要

- (世帯数)平成28年12月現在980世帯、居住者(約1900人)
- 役員:会長1名 ・副会長3名(うち1名は事務局選任) ・会計2名
- 専門部長(文化広報部、青少年育成部、交通部、防犯・防火部、女性部)
- 竹の塚交通安全協会桑袋支部長



迫力ある和太鼓の歓迎を受ける



プロ並みのハンドマッサージに驚く

実施概要

当校は、知的障害のある児童・生徒が学ぶための学校として昭和54年に開校し、小学部、中学部、高等部の3学部がある特別支援学校です。当校は、「児童・生徒一人一人に応じた将来の社会参加の自立に向け、そのもてる力と可能性を最大限に伸ばす学校」を目指しています。

そこで、今回の社会貢献活動は交流のある上宮園において、デイサービス来園者を対象に合唱を軸にした「歌や手話および楽器演奏を通じた交流会」を企画・実施しました。

今回の社会貢献活動は、その力を発揮することを目指して、高等部で音楽部に参加する生徒が日頃練習を積み重ねた曲の中から8曲を合唱しました。施設の利用者にも歌や演奏に参加してもらい、ふれあいながらの活動を行いました。手話をつけた合唱や歌に合わせた衣装を身に着けた生徒が直接ふれあうなど、生徒の積極的な態度に利用者にも楽しんでいただき、相互の理解を深めることができました。



今日は、ありがとうございました

活動報告

実施日：12月22日(木)

当日の午後、デイサービスセンターのクリスマス会の一部としてこの交流会を行いました。

1曲目「赤とんぼ」の後、生徒よりあいさつ。その後、利用者が歌える歌については、一緒に歌ったり、クリスマスソングでは利用者全員に鈴の演奏に加わっていただき、一体感を演出しました。

「Let it go」(アナと雪の女王)ではアナに扮した衣装を身に着けた生徒が利用者の席に出向き、手を取り合って踊る仕草をしながら一緒に歌って楽しんでいただきました。

5曲目「海」。6曲目「ふるさと」は手話付きコーラス。丁寧に手話の紹介をすることで利用者にも手話を真似ていただきました。

7曲目「七つの子」。8曲目「花は咲く」では、トーンチャイムを使って音色も楽しんでいただきながら、生徒がプレゼントを利用者一人一人に手渡して喜んでいただくようにしました。

活動参加者 当校 生徒…15人 引率教員…5人
内訳 交流先 利用者…30人 担当職員…6人

交通手段 当校と上宮園の距離はおおよそ2km
徒歩で約15分

当日のスケジュール

- 13:20 学校から生徒、上宮園に移動開始
- 13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ
- 14:00 演目「赤とんぼ」「あわてんぼうのサンタクロース」「ジングルベル」「Let it go」「海」「ふるさと」「七つの子」「花は咲く」
- 14:30 終演 感想発表 生徒あいさつ 終了

活動のために準備したもの

- 歌詞カード(生徒作成) ● 拡大プログラム(生徒作成)
- アナと雪の女王の衣装(教員と生徒の合同作成)
- プレゼントのポケットティッシュケース(作業学習で生徒が作成)

工夫したところ

- 曲間のコメントを生徒が考え、教員と一緒に完成させた。
- 自分たちでもお年寄りと一緒にできる交流は何か、と生徒の意見を出し合う会を設けた。
- コミュニケーションや発声等に課題がある生徒でも、自信をもって発表できる内容を設定した。
- 手話やダンスの事前の複数回にわたる個別練習を行った。

実施にあたって注意したところ

- 感染症予防の徹底。 ● 安全な交流会の実施に向けての取り組み。
- 人権教育の観点に立った生徒指導。

良かったと思うところ

- 利用者になじみの曲の使用により、生徒と一緒に歌っていただけた。
- 生徒の実態に合わせた役割を設定したため、全生徒がステージでやりがいをもって発表できた。
- 上宮園のスタッフ様の臨機応変な対応で、スムーズな進捗と、利用者の方々に応じた参加方法の提案をしていただけた。
- ポケットティッシュケースのプレゼントを大変喜んでいただけた。

今後に向けての学校からの抱負

- ふれあいをさらに拡大した内容の設定。
- 定期的な上宮園への訪問と頻度の拡大。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- お年寄りと手をつなぐのが恥ずかしくて手が出せませんでしたが、お年寄りの方から笑顔で手を差し出してくれてホッとしました。
- 最初は緊張して声が出せませんでしたが、お年寄りの笑顔と拍手を見て、だんだん楽しくなってきました。
- プレゼントを渡すとき、皆さんがとても喜びながら受け取ってくれてよかった。
- 終わってから、お年寄りと一緒に歌いたい曲をたくさん思いつきました。早く次もやりたいです。

教員

コミュニケーションや社会性に課題のある生徒たちですが、毎回の部活動練習を重ねるにつれて生徒自身の期待感が増し、普段の学校生活では見られない積極性で練習に取り組んだり、独自のアイデアを出したりと、それぞれに大きな成長を遂げてこの交流会を作り上げました。共に同じ地域で過ごすお年寄りが楽しんでいただけた姿を見た生徒は、喜びとともに、それぞれに次への目標に心を膨らませています。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 皆さんの声が上手で、楽しく歌えました。 ● 毎年、楽しみにしています。
- また、来てください。歌を歌えるのは、うれしいです。
- 懐かしい歌が歌えて、よかったです。 ● みんな大きくて、若い人はいいですね。

施設長

当日、デイサービス利用者様は、自分の孫を見るように真剣に聞き入っていました。一方、生徒さんも利用者様の中に入って歌っていただいたりして、とてもフレンドリーなコンサートでした。全8曲が終わってからの利用者様から「すごく楽しい会でした」、「素敵なお会でした」という感想を頂きました。また、涙で言葉にならない利用者様もあり、とても良いコンサートを開催していただいたと思っています。清瀬特別支援学校とは、今後もより良い関係性を維持していけるよう努力していきます。

■ 実施までの経過 ※ (コ) : コーディネーター

- 8月22日 当校にて、第1回打合せ。事業内容の確認。
(コ)、副校長にて、例年開催している、特別養護老人ホーム上宮園との演奏活動を軸に調整。日程及び内容を検討。
- 9月30日 上宮園にて第1回打合せ。(コ)、副校長、担当教員、施設長、チーフ相談員にて、事業内容の再確認。
- 12月2日 (コ)、担当教員を訪ね、練習の見学及び内容を確認。
- 12月20日 2日前確認ということで、上宮園にて感染症対策の確認を行い、上宮園と学校の双方で対策を講じる。
- 12月21日 前日確認を終え、当日に至る。

交流先



社会福祉法人上宮会 特別養護老人ホーム上宮園
上宮園デイサービスセンター

住 所：東京都清瀬市竹丘3-3-31

■ 施設概要

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 入所定員100名
- 短期入所生活介護(ショートステイ) 定員8名
- 通所介護サービス(デイサービス) 定員25名



素敵な歌声が部屋中に広がります



"アナ"の衣装で現れた生徒に利用者大喜び